

# 1. 策定にあたって

## 1.1 第2次山梨市水道ビジョン策定の趣旨

本市では、平成20年3月に「山梨市水道ビジョン」（以下、前回ビジョンとする）を策定し、向こう10年間における水道事業運営の指針を示しました。

本市の人口は、他都市と同様に減少傾向にあり、これに伴う水道料金収入の減少が課題となっています。一方で、水道施設の老朽化も進んでおり、中長期の視点に立った効率的な施設の更新が求められています。

このような状況の中で、厚生労働省は平成25年3月に新水道ビジョンを公表し、災害対策や人口減少を踏まえた施策の強化を提唱し、「安全」、「強靱」及び「持続」の3つの観点から水道事業の抱える課題に対する対応策と目指すべき方向性を示しています。

そこで、前回ビジョンの計画期間満了を迎えるにあたり、新水道ビジョンの考えのもと、将来を見据えた事業計画を立案し、より効率的な水道事業の運営をめざし、新たに「第2次山梨市水道ビジョン」を策定しました。

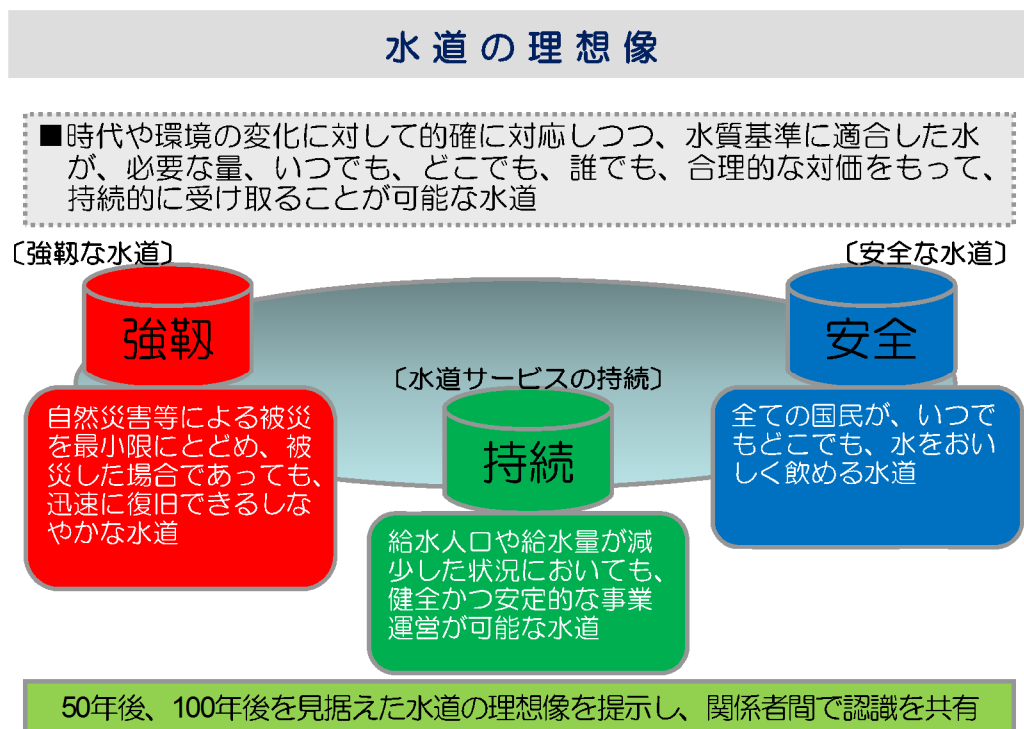


図 1.1 新水道ビジョンにおける水道の理想像（「厚生労働省 新水道ビジョン」より）

## 1.2 第2次山梨市水道ビジョンの位置付け

第2次山梨市水道ビジョンは、厚生労働省が策定した新水道ビジョンを踏まえて、「安全」、「強靱」及び「持続」の各分類における本市の課題について、体系的に整理し、具体的な施策を示すものです。

本水道ビジョンの計画期間は、平成39年度までの12年間です。社会情勢等の変化に柔軟に対応するため、適宜必要な見直しを図ります。

